

中部労災病院を受診された、及び治療中の患者様へ

当院では下記の要領で臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	四肢長管骨および骨盤骨折における手術療法の臨床成績および合併症に関する研究 (多施設共同研究)
当院の研究責任者 (所属)	中部労災病院 整形外科 部長 岡 義春
他の研究機関および 各施設の研究責任者	名古屋大学医学部附属病院 整形外科 病院助教 竹上靖彦
本研究の目的	四肢長管骨および骨盤骨折の手術治療における臨床成績と合併症について調査することです。
調査データ 該当期間	2014年4月から2019年3月まで
研究の方法 (使用する試料など)	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さま 四肢長管骨および骨盤骨折に対して手術加療または保存治療が行われた20歳以上の患者さま ●利用する情報 年齢、性別、身長、体重、BMI、喫煙歴、既往歴、骨折部位、骨折型(AO/OTA分類)、受傷機転、手術待機時間、手術時間、手術材料、術後免荷期間、骨癒合の有無(術後6か月、12か月)、日本整形外科学会臨床評価基準(受傷前、受傷後1年)、合併症(Charlson Comorbidity Index)
試料/情報の 他の研究機関への提供 およびその方法	データはすべて紙媒体にて収集し、そのデータは郵便書留を用いて名古屋大学医学部附属病院 整形外科に郵送を行う。情報の送付の際にはPDFによるメール送付は行わない。
個人情報の取り扱い	<p>研究対象者のデータや検体から氏名等の個人情報进行削り、代わりに新しく符号又は番号をつけて匿名化を行う。研究対象者と、この符号(番号)を結びつける対応表は外部に漏れないように厳重に保管する。対応表は各施設で管理する。</p> <p>本学の対応表は、インターネットに接続していない独立したPCを用い、外付けHDDにファイル形式にて保存される。そのHDDはパスワードロックを行い、またファイルもパスワードによって保護を行う。HDDは施錠されたキャビネット内に保管される。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ	独立行政法人労働者健康安全機構中部労災病院 電話：052-652-5511 (代) 担当者：整形外科 岡 義春
備考	